

全国街路事業促進協議会

## 会長賞

### 都市計画道路 青葉通線青葉シンボルロード整備事業

(表彰対象者：静岡市都市整備部)

**表彰の理由** 市民の憩いの場、潤いの場として、楽しい魅力ある道路空間が創造された。

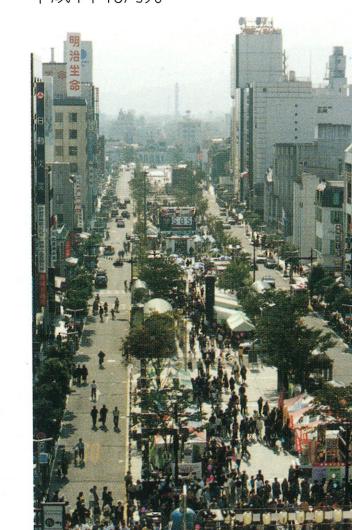
#### 事業のあらまし

青葉シンボルロード整備事業は、静岡市の都心に位置する青葉通線を市民の憩いの場、うるおいの場として、中心市街地における魅力ある都心空間の確保を図り、都市の顔となるよう常磐公園を含め一体的に整備した。市役所庁舎から常磐公園までを結ぶ青葉シンボルロードは、光・イベント・安らぎ・水の四つのゾーンで構成されている。光のゾーンには「天使の虹の階段」のモニュメント、安らぎのゾーンには彫刻「出会い」及び「ZEN」、水のゾーンには親水施設の池・水の彫刻等を配置し、多くの人々の訪れをさそっている。

- 延長：460m
- 幅員：36m
- 事業費：約1,600百万円
- 事業年度：昭和63年度～平成3年度



シンボルロード全景  
(市役所側より撮影)。



シンボルロード全景(常磐公園側より撮影)。



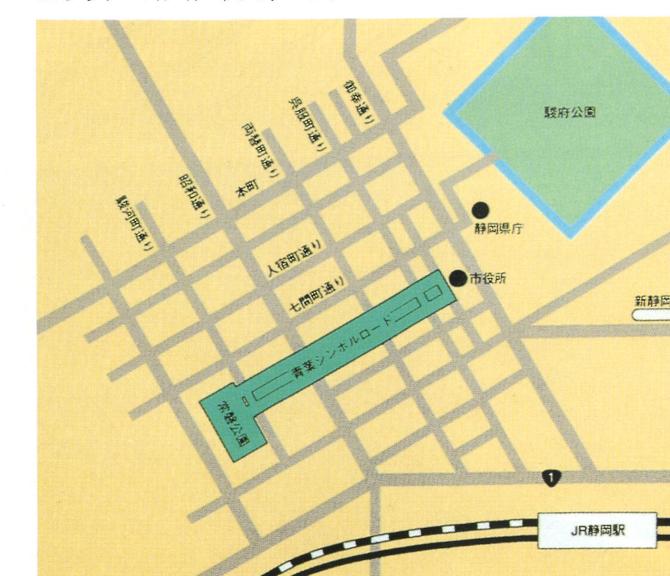
モニュメント「天使の虹の階段」  
エリック・オア作〈光のゾーン〉



彫刻「風を涿ぐ」高田洋一作〈水のゾーン〉



彫刻「出会い」  
ウィリアム・マクエルチュラン作  
〈安らぎのゾーン〉



#### 事業遂行上の工夫

市中心地の商業地域と隣接しているため、工期の短縮と工事用車両を軽減することを念頭に交通処理を行い、また、シンボルロード基本構想の段階から、地元代表者が計画に参画したことにより、商店街の協力を得られ、ひいては、工期を短縮することに成功した。